

●たのはたむら

田野畑村

田野畑村の被害状況

	最大震度	4
	浸水面積	1km ²
	最大浸水深	28.33m
	全壊	225棟
	半壊	45棟
	一部損壊	11棟
	死者	17人
	行方不明者	15人
	負傷者	8人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.1下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

鎮魂、そして住民のコミュニティ復活の場

●らがふれあいこうえん 羅賀ふれあい公園

田 野畑村の玄関口である三陸鉄道田野畑駅から、北東方向に歩いて10分の場所にある羅賀ふれあい公園。ここは震災による津波で犠牲になった方々を追悼する鎮魂の場、そして住民同士のコミュニティ再生の場として整備された公園です。

公園内には明治29年(1896)の三陸地震津波によって打ち上げられた20tにおよぶ津波石、昭和8年(1933)の三陸地震津波の教訓を伝える石碑、そして東日本大震災の慰霊碑や大津波伝承の碑などが設置され、津波の脅威や教訓を訪れる人たちに伝えています。

震災で集落の奥まで津波が押し寄せた羅賀地区では多くの住居が流失しました。公園内に建立された震災の伝承・鎮魂碑には「津波を甘くみないで、より早く、より高い所へ逃げる」と刻んであります。「石碑に目を向けて、津波の脅威を認識してほつ」という強い願いが込められています。



羅賀地区同様に集落の奥まで津波が押し寄せた平井賀地区。かつては木炭の積み出し港として栄えた。震災時、平井賀地区の住民の多くは高台に避難したが、多くの住居が全壊した



東日本大震災の慰霊碑と、明治と昭和の慰霊碑が立つ。写真は明治三陸地震津波で打ち上げられた羅賀の津波石。語り部ガイドは震災遺構 明戸海岸防潮堤(P28)同様、体験村・たのはたネットワークで受付



震災時の津波で甚大な被害を受けた平井賀漁港・羅賀地区。海岸線には白亜紀の地層がある。20t近い重量の明治三陸地震津波の津波石は、ここから約250m内陸にある標高28mの畑まで津波によって運ばれた

慰霊碑公園

語り部あり

車椅子OK

※要予約

施設DATA

●らがふれあいこうえん

羅賀ふれあい公園

☎ 0194-33-3248 (田野畑村総合観光案内所) MAP P112E2

📍 田野畑村羅賀27-2

🚗 三陸沿岸道路田野畑中央ICから車で7分

👁️ 見学自由

🅇なし

？ ？ 考えてみよう

Q1 「羅賀の津波石」を250mも内陸に運んだとされる明治三陸地震津波は、羅賀地区にどんな被害をもたらしたのでしょうか？

